

**令和6年度大学・高専機能強化支援事業**  
**(支援2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)【大学】**  
**事業概要**

令和6年2月申請時点

**1. 基本情報**

大学名	和歌山大学		
設置区分	国立	学校種	大学
都道府県	和歌山県	事業期間	令和6年度～令和15年度
申請区分	大学（一般枠）	改組内容	研究科等の設置・増員及び学部等の設置・増員
事業計画名	和歌山大学における学部・大学院を通じた高度情報専門人材の育成事業～情報教育を基盤とした高度情報複合系工学人材の育成に向けて～		

**2. 事業概要**

社会の産業構造や技術革新が複合化・多様化するなか、和歌山大学システム工学部では、令和5年度から社会のニーズに応えるべく、新たな教育課程（3領域（情報学、応用理工学、環境デザイン学）、博士前期課程までの6年制）を導入した。その新課程の導入に伴い、大学院も令和9年度から学部段階の新課程に合わせた教育組織の再編（「情報創成クラス」の新設、ダブルクラスタ制の導入）を行う。本事業では、成長分野たるデジタル分野における先端IT人材育成の拡充のため、学部及び大学院における情報系分野の教育研究体制の充実を図り、入学定員増（R7年度に学部30名増、大学院11名増、R11年度に大学院14名増）を実現することで、**高度な情報技術を基盤とした多様な工学的専門知識及び技能を有する「高度情報複合工学系人材」の育成**を目指す。この人材は、将来の我が国におけるデジタル分野の成長や発展を支えるのみならず、情報系に係る多様な分野における新たな技術革新やイノベーションを生み出す原動力となる。

**3. 情報系組織**

情報系組織の設置・増員計画（赤字は事業対象組織）

課程	組織名	入学定員		設置・増員等時期	設置等後の 主な学位分野
		事業開始時	事業終了時		
博士	システム工学研究科システム工学専攻	8	8	—	工学関係
	計	8	8	増員数	0
修士	システム工学研究科システム工学専攻	129	154	R7増員、R11増員	工学関係
	計	129	154	増員数	25
学士	システム工学部システム工学科	290	320	R7増員	工学関係
	計	290	320	増員数	30

大学全体の収容定員に占める情報系組織の収容定員の割合

	博士課程	修士課程	大学院計
増員前（R6.4.1時点）	57.1%	74.6%	72.7%
増員後	57.1%	77.8%	75.8%
増分	+0.0%	+3.2%	+3.1%

事業計画名 和歌山大学における学部・大学院を通じた高度情報専門人材の育成事業～情報教育を基盤とした高度情報複合系工学人材の育成に向けて～

基本情報	
改組内容	研究科等の設置・増員+学部等の設置・増員
所在地	和歌山県和歌山市栄谷930
増員する情報系組織名(修士)	システム工学研究科システム工学専攻
入学定員増数及び増員時期(修士)	25名(R7, R11)
増員する情報系組織名(学士)	システム工学部システム工学科
入学定員増数及び増員時期(学士)	30名(R7)

<社会や地域のニーズ・課題>

- 産業界ニーズ調査及び追加的な産業界への意見聴取によると、産業界においては数理・情報技術分野と他分野といった多様な知識・技術を有する人材に対する需要が高まっている(平成29年3月29日「人材需給ワーキンググループ取りまとめ(理工系人材育成に関する産学官円卓会議への報告)」)
- 2030年には先端IT人材が54.5万人不足するという調査結果もある。米国(27.2%)やドイツ(31.7%)と比較して日本企業がDX(デジタルトランスフォーメーション)の取組を進めるに当たっての課題として人材不足を掲げる企業は日本(53.1%)は高い割合を占めている。(令和4年5月10日教育未来創造会議「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について(第1次提言)」)
- 和歌山県において、IT関連企業の誘致を積極的に実施。誘致に力を入れ始めた2001年度以降、IT関連企業46社が県内にオフィスを構えた。地域別では和歌山市22社、白浜町18社、田辺市6社。白浜町では、米IT大手「セールスフォース・ドットコム」の日本法人がオフィスを開設。近年、和歌山県におけるIT人材育成の需要が高まってきている。

<研究科等の体制強化の概要・コンセプト・特徴など>

- 令和5年度にシステム工学部を情報技術を基盤とした複合領域の知識・技術を修得する教育課程として再編を行い、大学院博士前期課程を通じた6年制の導入。その改革を踏まえた情報系人材育成の強化に向けた教育体制や教育内容の整備・拡充。
- 令和5年度に入学した学生が、令和9年度に大学院に入学する時期に、大学院博士前期課程において情報系クラスタを再編し、新たに「情報創成クラスタ」を新設し、情報教育に重点を置いた高度情報複合系工学人材を育成すべく教育体制を強化。
- 学部、大学院を通じた高度情報拡充専門人材の育成に向けた段階的な体制整備と学生のニーズに見合った人材育成枠(定員)の拡充。

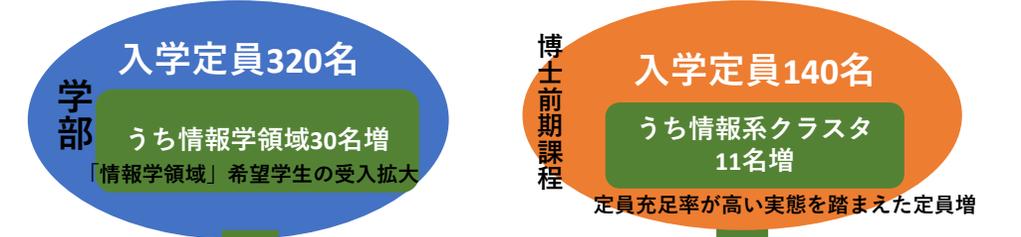
<教育内容・育成する人材像>

- 学部や大学院の教育を通じた情報を中心とした複合的かつ実践的な教育により高度な情報技術を基盤とし多様な工学的専門知識や技能を有する「高度情報複合工学系人材」を育成する。

<初中段階・他大学・高専・企業・自治体等との連携>

- 令和7年度から、システム工学部において「学校推薦型選抜(女子枠)」を新設し、多様な学生の受け入れによるダイバーシティ化の実現や、教育研究の活性化を目指す中で、女子の「高度情報複合工学系人材」の育成にも注力。
- 本学が加盟している「データ関連人材育成関西地区コンソーシアム」における大学や企業との連携による教育研究を推進していくことで、データサイエンス、データエンジニアリング、データアナリティクスなどの高度情報系人材育成を進めていく。
- システム工学部では、高等専門学校から3年次編入の受け入れ、また、大学院においては、高等専門学校専攻科修了者の大学院への進学を促進するための連携協定による進学の実施などを実施。今後とも、高等専門学校との連携を強化しつつ、「高度情報複合工学系人材」の育成につなげていく。
- 自治体や企業等とは、POSデータなどを活用した実践的な情報教育や共同研究講座の開設による新たな世代のクラウド人材の育成を実施。そのような実践的な情報教育の研究を牽引する組織として、「情報教育推進研究センター(仮称)」を設置し、産学官金連携のもと情報教育や研究の高度化や実用化を図り、それらの成果を学生の教育研究活動の充実、さらには、社会への還元(地域課題解決への貢献など)につなげていく。

【令和7年度】



【令和9年度】



【令和11年度】



「高度情報複合工学系人材」の育成へ